



異国に居るという自覚

グエン ティ ラン トゥー
NGUYEN THI LAN THU

現在、日本は高齢化が進み、労働者が不足しています。そのため、外国人がどんどん増えています。外国人が多くなれば多くなるほど日本人の外国人へのイメージはいいことばかりではないと思います。

私は高校を出た時に両親の代わりに借金を返したいと思い、日本に行くことを決めました。ベトナムのセンターで1年間日本語を勉強して、実習生として2016年に日本へ来ました。日本に来て最初の1か月は大阪のセンターで日本語を勉強しました。

入国してから、初めてスーパーへ行った時信じられないことがありました。スーパーの店内にベトナム語で「ベトナム人には売らない」という貼り紙があったのです。私は本当にびっくりして、店員さんに「どうして、ベトナム人に売りませんか」と質問しました。すると、店員さんは「ベトナム人がいつも万引きするから」と言っていました。私は本当に恥ずかしかったです。

テレビでは、外国人が罪を犯すニュースがだんだん増えています。日本で多くの駅にベトナム語で書かれている「キセル乗車をするな」、「万引きするな」、「ここに監視カメラが設置されています」といった貼り紙があります。あまりアルバイトができないのに、学費や家賃が高いという理由で留学生は罪を犯すことがあります。会社によっては、給料が低く、残業も少ないという理由で実習生は罪を犯すことがあります。一

部の外国人のせいで、外国人を嫌う日本人もいます。しかし、どんな会社でもいい人、悪い人、どちらもいます。ですから、みなさんには一部の悪い人が作ったイメージだけで全部を判断しないで欲しいです。

実習が始まる前は、もしかしたら会社の人もベトナム人をあまり良いと思っていないかもしれないと不安でした。しかし、会社の皆さんは本当に親切で、どんなに忙しくても私達が分からないことを教えてくれます。特におじいさんやおばあさんは、野菜や果物をくれたりもします。

ある日、会社の方が「ベトナム人は一生懸命働いている。」と言ってくれました。私達は本当に嬉しかったです。

海外に行くこと、一人一人がその国の代表的なイメージになります。美しい事も悪い事も印象を残します。でも、悪い事の方が良い事より長く覚えられてしまいます。チャンスを求め海外に行った人の中で、自国のイメージを汚さず将来に信頼という宝を残すために自分に何ができるかと自問した人はいったいどれくらいいるでしょうか。私は、「きれいな羊がたくさんいても、汚い羊が一匹でもいたらダメになる」と思います。

悪い事をしたら、家族は悲しみ、二度と日本へ戻ることもできません。いつもそのことを忘れなかったら、いくら大変でも真面目に頑張ることができます。これからも皆さんに信頼してもらうために、成長したいです。